

令和5年度環境経営レポート

(期間: R5年4月～R6年3月)

エコアクション21



株式会社 渡部製作所



作成・発行日 R6年7月1日

目次

- Page1～ 1. 組織の概要
- Page2～ 2. 環境経営システム運用組織図
- Page3～ 3. 環境経営方針
- Page4～ 4. 環境経営目標
- Page5～ 5. 主要な環境経営計画の内容
- Page7～ 6. 環境経営目標とその実績
- Page8～ 7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容
- Page13～ 8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無
- Page14～ 9. 代表者による全体の評価と見直し



1. 組織の概要

1. 事業者名及び代表者名
株式会社 渡部製作所 代表取締役社長 渡部 竜一
2. 所在地 〒959-3132
新潟県村上市坂町2954
3. 環境保全関係の責任者及び連絡先
環境管理責任者： 代表取締役社長 渡部 竜一
環境推進担当者 EA21推進事務局 高橋 祐也
TEL 0254-62-3855 FAX 0254-62-4343
4. 対象事業内容
① 配線用遮断器、電磁開閉器、電磁接触器部品製造
② プログラマブルコントローラ部品製造
③ 漏電ブレーカの組立
④ ATM部品製造
⑤ 変圧器部品製造
⑥ エアクリーナー部品製造
⑦ プレス金型製造
⑧ 射出成形機部品製造
⑨ 自動車用リレー部品製造
⑩ 計器用部品製造
5. 特徴
金型から部品そして組立まで一貫製造している企業で、数量も1個から数十万個まで、しかも材質は種々の金属はじめ非鉄金属、そして様々な絶縁物（絶縁紙、合成樹脂等）まで多品種のものを製造している。
6. 事業の規模 R6. 3. 31現在

活動規模	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
従業員	人	53	47	47	47
床面積	m ²	2,462	2,462	2,462	2,462
投入工数	千分	5,168	5,286	5,289	5,462

※事業年度は4月1日～翌年3月31日

2. 環境経営システム運用組織、役割・責任権限

代表者：代表取締役 渡部 竜一

- ・環境経営に関する統括責任
- ・環境経営システム実施に関する必要資源の準備
- ・経営環境方針の確認・見直し・社内周知
- ・環境経営目標・計画を承認
- ・取り組みの評価、見直し 経営における課題とチャンスの明確化

環境管理責任者：代表取締役 渡部 竜一

- ・環境経営システムの構築
- ・環境経営レポート承認
- ・環境経営目標・計画を確認

EA21事務局：環境推進担当者 高橋 祐也

- ・環境負荷の自己チェック・取り組みの自己チェック
- ・環境法規とりまとめ、遵守状況の確認
- ・環境経営レポート作成・環境経営目標・計画を企画

部門長 (金型課、組立課、プレス課、管理部・品証課)

- ・部門への環境経営方針の周知
- ・部門への緊急事態訓練の計画実施

部門環境推進者 (金型課、組立課、プレス課、管理部・品証課)

- ・部門長補佐、温度管理表チェック、一般廃棄物量チェック

全従業員

- ・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画の理解、取り組みの重要性を認識し、積極的に環境活動への参加

3. 環 境 経 営 方 針

« 経営理念 »

当社は、環境経営の重要性を認識し、企業としての社会的責任を果たすために、環境経営活動を経営システムの一環として導入し、効果的な活動を展開する事により環境パフォーマンスを高め企業力の向上を図ります。

一方、全員の参画による環境経営活動を実施して、市民として日常生活における環境経営活動に対応できる社員を養成します。

更に、地域社会と協調し、環境にやさしい経営運営に努めると共に地域社会に貢献することを目的に次の環境経営方針を定めて活動に取組みます。

« 環境経営方針 »

当社は、①プレス金型の設計製作、②プレス加工、（一般金属材料、非鉄金属材料、各種電気絶縁材料）、③漏電ブレーカーの組立を行っています。

全ての事業活動が、大量のエネルギーや材料を消費していることを認識した上で効率的に生産活動を行い、また、不良品をへらすことにより無駄なエネルギー・資源を生み出さないことを意識して活動し、以下の環境活動に取り組みます。

1. 事業活動の全領域で環境保全に努め、省資源、省エネルギー、資源循環、等に配慮した事業活動を展開します。
2. 環境汚染を未然に防止すると共に、環境保全実績の継続的改善が図れるように推進します。
3. 環境関連法令及び当社が承認した協定等を遵守します。
4. 次項を重点的なテーマとして環境目標を設定し、効果的に取組みを行います。
 - ①. 「環境への負荷チェック」結果の著しい項目及び特にCO₂排出抑制、廃棄物排出抑制、総排水量抑制については、改善目標管理を実施します。
 - ②. 化学物質の管理を強化して取扱い管理や顧客先のグリーンサプライ化対応を図ると共にリスク発生を予防するよう努めます。
 - ③. 経営における課題とチャンスを踏まえて事業活動を検討します。
5. 環境教育・訓練・社内広報活動の実施により全従業員に環境経営方針を周知徹底すると共に環境保全に関する意識を高め、社内における環境保全状況の知識、認識の向上を図ります。

制定 H17年8月31日

改訂 R5年6月1日

株式会社 渡部製作所

代表取締役社長 渡部 竜一

4. 環 境 経 営 目 標

No.	環境改善目標	単位	基準年 (R4年度)	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
1	二酸化炭素排出量 の削減	kg-CO2	240,791	215,685	215,685	215,685	215,685	215,685
2	電気使用量削減	kWh	405,642	340,000	340,000	340,000	340,000	340,000
3	油使用量削減 (ガソリン、軽 油、灯油)	L	5,637	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
4	廃棄物排出量 の削減	kg	一般廃棄物	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800
			産業廃棄物	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200
5	水使用量の削減	m ³	925	800	800	800	800	800
6	化学物質の管理強化	回答%		100	100	100	100	100
		必要時含有量把握%		100	100	100	100	100
7	地域社会への貢献 (会社周辺清掃)	年間実施 回数	1回	1回	1回	1回	1回	1回
8	環境保全意識の 向上(緊急事態訓 練等)	年間実施 回数	1回	1回	1回	1回	1回	1回
9	生産、販売する 製品、サービスの 環境配慮	年間実施 件数	1回	1件	1件	1件	1件	1件

環境経営目標の数値はR4年度を基準とする

見直し: R5年4月

5. 主要な環境経営計画内容

活動内容	担当部署
1. 二酸化炭素排出量の削減	
(1) 購入電力量の削減	
・ 不要照明の消灯	
・ 冷暖房の室内適正温度管理の実施徹底冷房 28°C 暖房 20°C	全社
・ エアコンフィルター定期清掃徹底 (8月、12月)	
(2) 化石燃料の削減	
・ プレス職場の防寒対策として、ビニールカーテン及びパーテーション等の設置	プレス課・管理課・組立課
・ 運搬業務の集約、アイドリングストップ	管理部
・ 暖房の室内適正温度管理の徹底	全社
2. 廃棄物排出量の削減・リサイクル化	
(1) 一般廃棄物排出削減	
・ 紙の分別徹底による再生利用量の拡大	
・ コピー用紙の裏紙利用の徹底	全社
・ ごみの分別	
・ 納品時のダンボールをプラスチック箱に変更し複数回利用	
(2) 産業廃棄物排出削減	
・ 分別管理徹底によるリサイクル化	
・ 木製パレットの回収依頼及び再利用の徹底	管理部
・ 梱包材削減依頼 (簡易梱包化の推進)	プレス課
3. 水使用量の削減	
・ 手洗い時蛇口必要最小開口による節水徹底、調節バルブ設置	
・ 地下配管漏水をメーターで毎月チェック	全社
・ 節水の呼びかけ	
・ 花壇への散水の雨水利用	
4. 化学物質の管理強化	
・ 有害物質含有/不含有証明書の入手	
・ SDSを入手し安全性の確認及び有害物質の不含有確認を行う	管理部
・ 顧客の調査依頼に対し、全件対応	

活動内容	担当部署
5. 地域社会への貢献	

- 会社内および会社周辺の清掃実施（年1回）

全社

6. 環境保全意識の向上及び社内環境保全状況の知識、認識の向上

- 全員朝礼時、定期的に全従業員を対象に環境教育を実施する。
- 緊急事態訓練

全従業員

7. 自らが生産販売する製品サービスに関する環境配慮

- 顧客に対し、製品サービスに対し環境配慮の提言

管理部



6. 環境経営目標とその実績

1. 主要な環境経営目標と実績

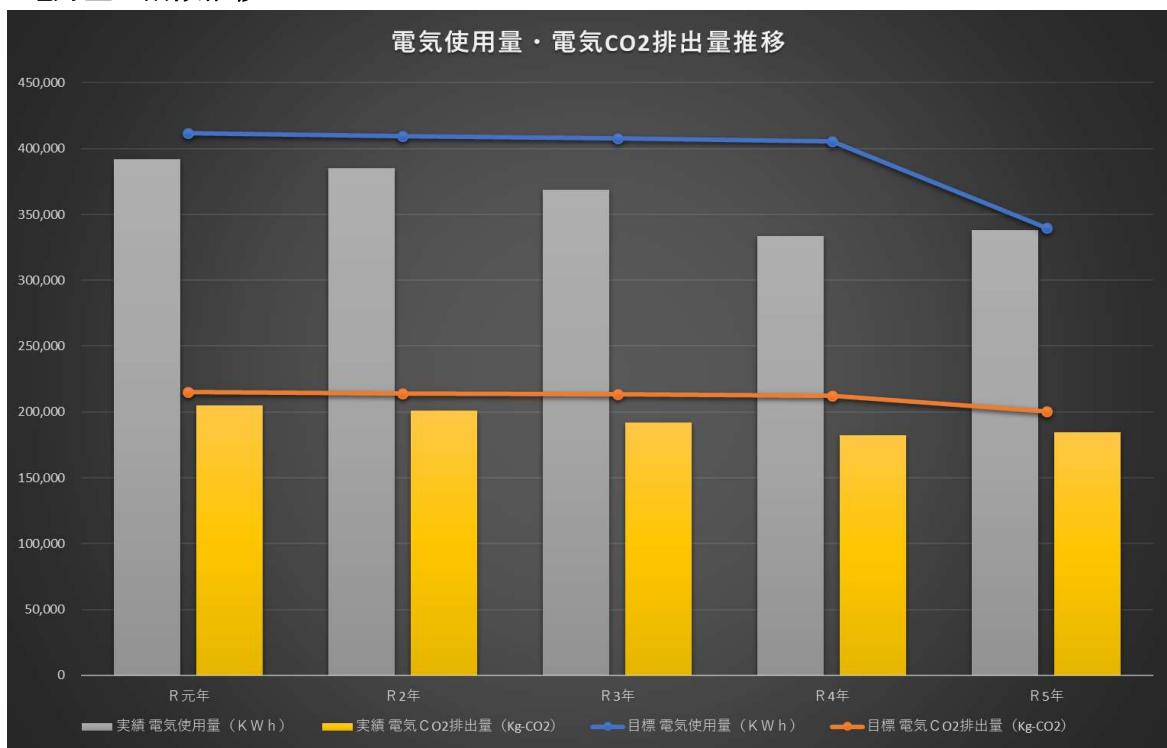
環境経営目標項目			年度	R4年度	R5年度
※	関連 環境負荷項目	単位	数値名	(前年度)	(対象年度)
二酸化炭素 排出量		kg - CO ₂	目標	240,791	215,685
			実績	205,452	213,459
			% 達成率	117.2	101.0
※ 購入電力量		KWh	目標	405,642	340,000
			実績	333,672	337,853
			% 達成率	121.6	100.6
電力からの CO ₂ 発生量		kg - CO ₂	目標	212,151	191,760
			実績	182,185	190,549
			% 達成率	116.4	100.6
※ 化石燃料 使用量 (油)		L	目標	11,424	10,000
			実績	9,320	9,151
			% 達成率	122.6	109.3
(油) からの CO ₂ 発生量		kg - CO ₂	目標	27,760	23,925
			実績	22,568	22,208
			% 達成率	123.0	107.7
廃棄物排出量 (一般廃棄物)		kg	目標	4,310	2,800
			実績	2,690	3,025
			% 達成率	160.2	92.6
廃棄物排出量 (産業廃棄物)		kg	目標	3,208	2,200
			実績	1,565	1,713
			% 達成率	205.0	128.4
水使用量		m ³	目標	925	800
			実績	710	712
			% 達成率	130.3	112.4
化学物質の管理強化		件	目標	調査依頼全件対応	調査依頼全件対応
			実績	24件依頼あり 24件対応	23件依頼あり 23件対応
			% 達成率	100.0	100.0
地域社会への貢献 会社内及び会社周辺 の清掃		回	目標	年1回会社周辺清掃	年1回会社周辺清掃
			実績	1 (8月に実施)	1 (8月に実施)
			%	100.0	100.0
環境保全意識の向上及び 社内環境保全状況の知識 認識向上		回	目標	社内教育の実施年1回	社内教育の実施年1回
			実績	教育実施1回	教育実施1回
			%	100.0	100.0
自らが生産販売する製品サ ービスに関する環境配慮 顧客に環境負荷低減提案		件	目標	年1回提案	年1回提案
			実績	0	1
			%	0.0	100.0

購入電力は、二酸化炭素排出係数0.564Kg-CO₂/kwhを使用

7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境経営目標		単位	目標	実績	達成状況	評価
購入電力量の削減		kWh	340,000	337,853	1%削減	○
化 石 燃 料	灯油・軽油・ガソリン	ℓ	10,000	9,151	9%削減	○
二酸化炭素排出量		kg-CO2	190,549	213,459	1%削減	○
水使用量の削減		m ³	800	712	12%削減	○
廢 棄 物 排 出 量	一般廃棄物	kg	2,800	3,025	7%未達成	✗
	産業廃棄物	kg	2,200	1,713	28%削減	○
化学物質管理強化	件	調査依頼 100%対応	全件対応 (23件)	100%		○
地域社会貢献	回	1	1	100%		○
社内教育実施	回	1	1	100%		○
顧客に環境負荷低減	回	1	1	100%		○
購入電力は、二酸化炭素排出係数0.564Kg-CO2/kwhを使用						

1. 購入電力量の削減推移



R5年度電力使用量

目標値 340,000KWh



実績値 337,853KWh



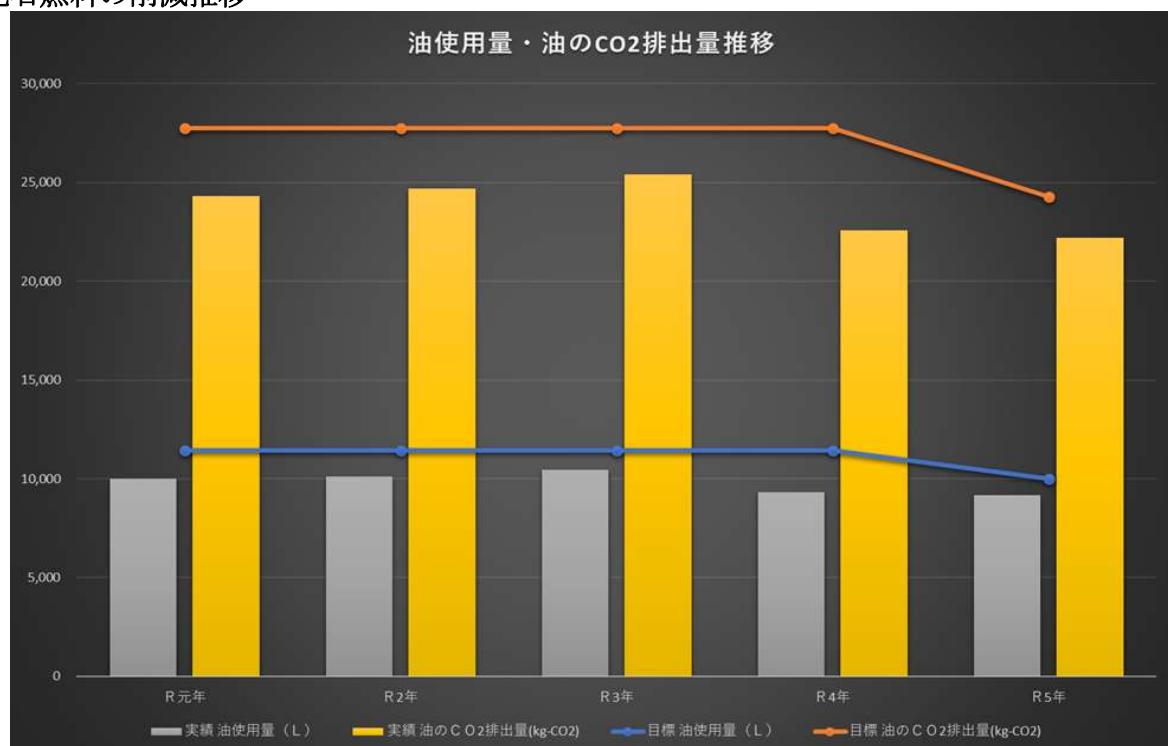
来期目標値 340,000KWh

《評価》○

1%削減

購入電力量は、目標を達成できた。例年通り、夏季冬季のエアコン使用量が多い時に月目標が未達傾向になる。

2. 化石燃料の削減推移



R5年度油使用量・油のCO2排出量

目標値 10,000ℓ
23,925Kg-CO2



実績値
9,151ℓ
22,208Kg-CO2

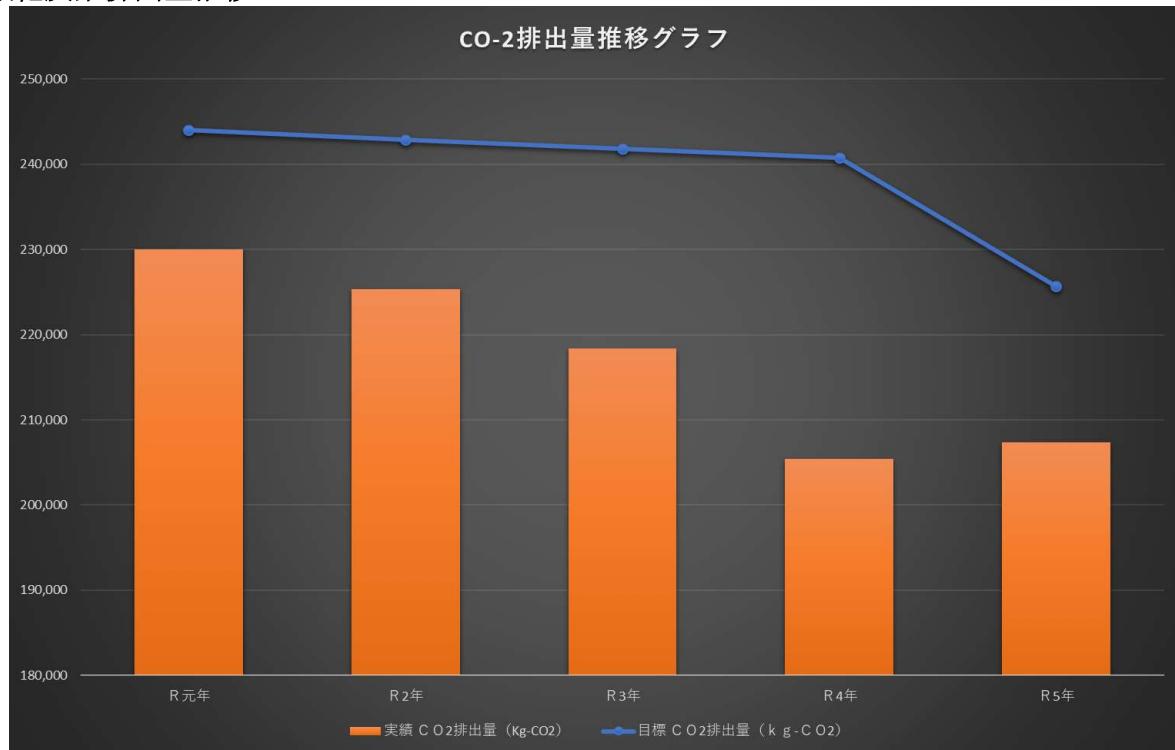


来期目標値 10,000ℓ
24,265Kg-CO2

《評価》○

7%削減

3. 二酸化炭素排出量推移



令和5年度CO2排出量

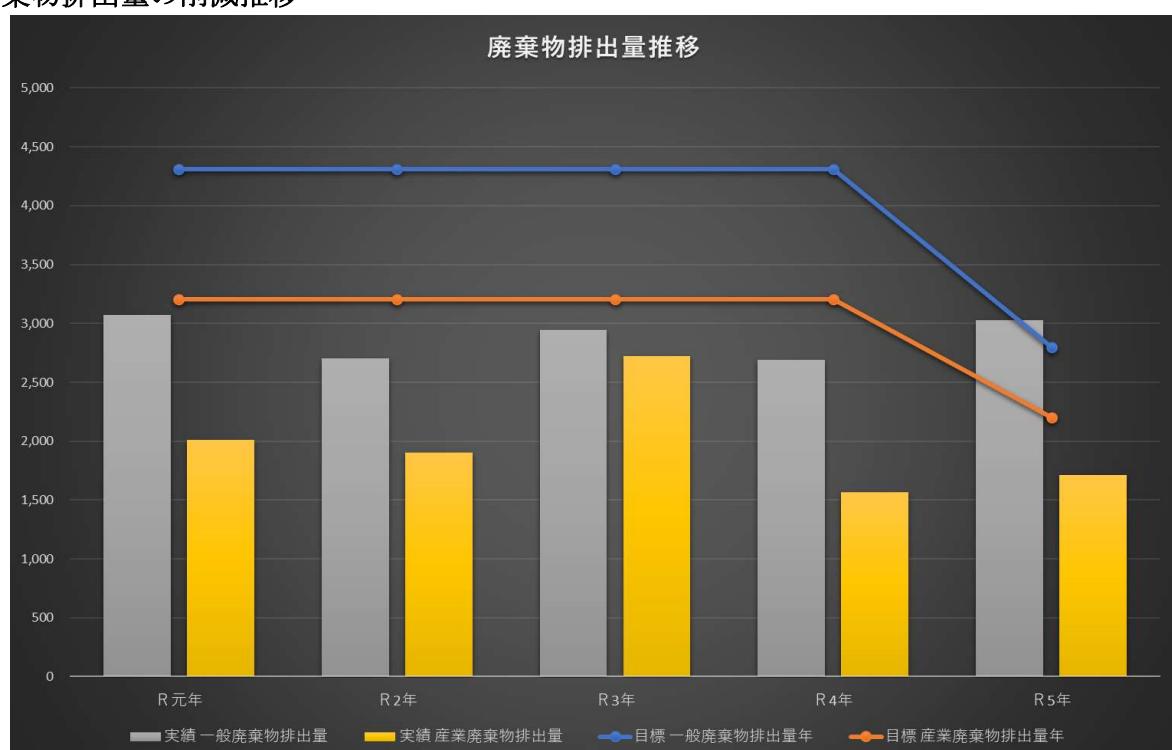
目標値 215,685Kg-CO2 → 実績値 213,459Kg-CO2 → 来期目標値 215,685Kg-CO2

《評価》○

1%削減

二酸化炭素の排出量は、石油関係・購入電力とすべての項目で目標値をクリアできた。

4. 廃棄物排出量の削減推移

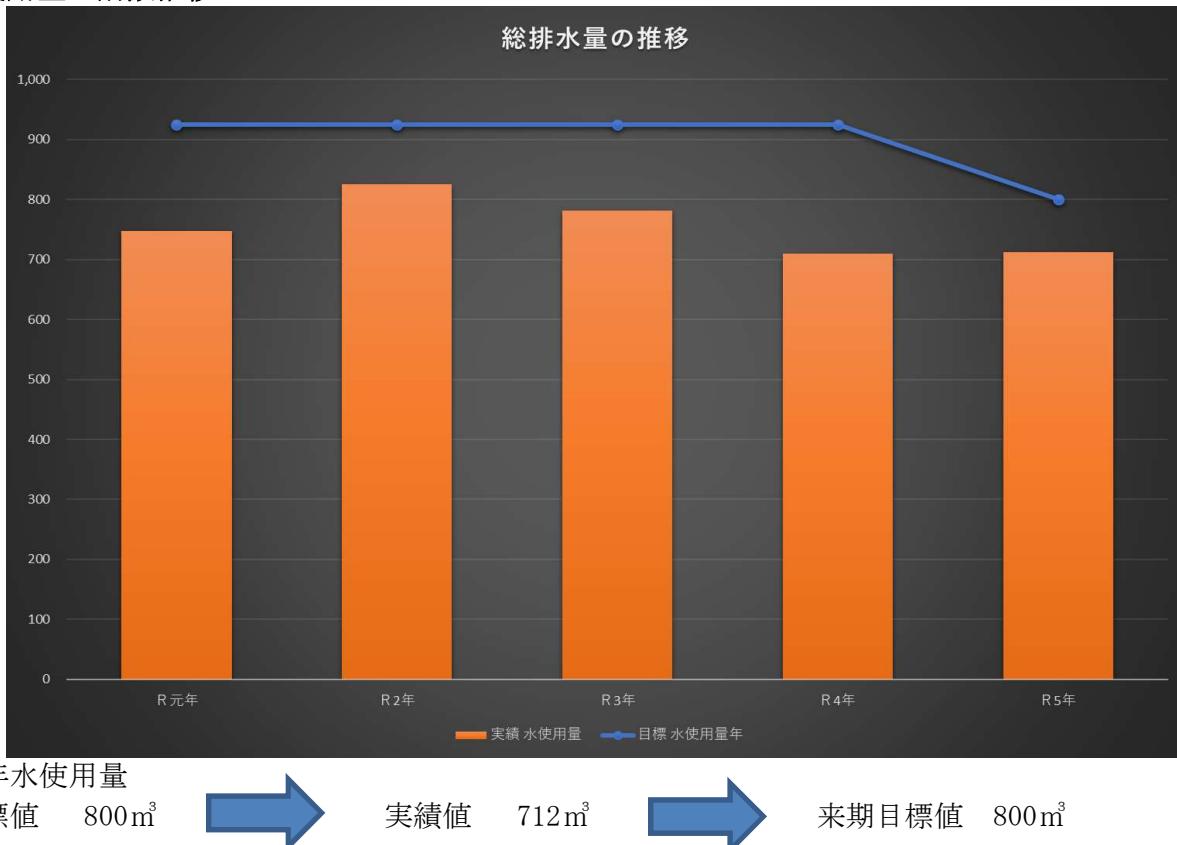


R5年度廃棄物排出量

目標値 一般廃棄物 2,800Kg → 実績値 3,025Kg → 来期目標値 2,800Kg
産業廃棄物 2,200Kg → 実績値 1,713Kg → 来期目標値 2,200Kg

《評価》一般廃棄物 7%未達
産業廃棄物 28%削減

5. 水使用量の削減推移



R5年水使用量

目標値 800m^3



実績値 712m^3



来期目標値 800m^3

《 評 価 》○

12%削減

生産活動で水を使用しておらず、ほとんどが生活用水である。冬場の融雪で水を利用することができ、今後の課題

6. 化学物質の管理強化

(1) 顧客の調査要求に100%対応する。

令和5年度 23件含有化化学物調査依頼があり、全件対応。

主に、chemSHERPA提出依頼・SVHC・紛争鉱物調査依頼

(2) 継続的最新版SDS収集

《 評 価 》○

顧客調査要求に100%対応

7. 地域社会への貢献

8月に会社敷地内の清掃を行った。社内清掃及び周辺清掃を行った。

《 評 価 》○

今後は、社内周辺清掃だけではなく、地域活動に積極的に参加していきたい。

8. 自らが生産販売する製品サービスに関する環境配慮

実績 1件 従来段ボール梱包で出荷していたものを、数量が増加したことを機に、
プラス容器に変更した。毎回、段ボールを再利用後廃棄していたが、通い箱輸送とした。

《 評 価 》○

9. 環境保全意識の向上及び社内環境保全状況の知識、認識の向上

- 定期的に会社のE A21の活動状況として環境負荷実績を各部門及び事務所に掲示し、従業員は勿論
外来者も閲覧できる形で公開している。
- 全員朝礼時、定期的に環境負荷実績を公表した。
- 各課朝礼時に部門長から、節水・節電・節約を従業員に要請した。
- 冷暖房の使用に時間設定し、節電・節油を要請した。
- 各課で、緊急想定訓練を計画し訓練を行っている。
- 各課で、温度管理表の記入、廃棄物排出量記入表の記入を引き続き行い、
社内全体で取り組む意識を向上させている。
- 今期は、SDGsの冊子を作成し、社内で回覧を行った。

《 評 価 》○

次年度取組内容

次年度の数値目標は、全項目において現状維持とし据え置きとする。

二酸化炭素排出量の削減	LED照明器具導入の検討等、設備更新時には 高効率商品の選定を検討していく。 グリーンカーテン再実施の検討
廃棄物排出量の削減	リサイクル出来るものの再度見直しを行う。 分別の徹底。 裏紙の再利用の徹底。
水使用量の削減	今までの活動を継続的に行う。
化学物質の管理強化	SDSの取集。 継続して、顧客の調査要求に対応していく。 SVHCに対する調査要求が多いので、対応強化を図る。
生産販売の環境配慮	顧客に環境負荷低減品の提案。
地域社会への貢献	会社周辺清掃の実施。
環境保全の意識向上	社内教育の実施。



8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

1. 当社に適用となる主な環境関連法規調査

法規制等の名称	活動内容	評価
騒音規制法	第4種指定地域	○
振動規制法	第2種指定地域	○
消防法	危険物貯蔵所、取扱所の設置、変更は許可を要する。	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	マニフェストに関する報告書を県知事に提出する。 水銀使用製品の廃棄物（蛍光灯など）の適正管理	○
下水道法	50m ³ /日以上の汚水を排出する、政令で定める水質の下水を排出する、水質汚濁防止法における特定施設を有するのいづれかに該当する事業所は届け出や測定の記録、排水基準遵守	—
水質汚濁防止法	指定規模外 貯油施設において油漏れがあった場合は届け出が必要	○
フロン排出抑制法	フロンを使用している機器ごとに点検・整備記録を作成しその機器を廃棄するまで点検記録を保存する。	○
悪臭防止法	第3種区域 規制地域内に事業場を設置している者は、当該規制地域についての規制基準を遵守しなければならない。 (臭気指数) ・敷地境界 13 ・排出水 29 事故時に悪臭原因物を排出した場合の応急処置と事故の状況報告の義務	—
家電リサイクル法	特定家庭機器の廃棄時に収集運搬料金とリサイクル料金の支払い	—
自動車リサイクル法	自動車廃車時における適正処理とリサイクル及び再資源化を推進。又、リサイクル料金の支払い	—
労働安全衛生法	取り扱いのあるすべての化学物質の危険性、有害性の調査し、リスクアセスメントの実施及び、ラベルの表示	○

2. 違反について

自主管理において違反はありませんでした。

騒音については、自主管理で定期的に測定実施しており、水質については、4社共同浄化槽で定期的に測定を実施しておりますが、問題の発生はありませんでした。また、外部からの苦情・関係機関等からの指摘・訴訟も過去にありませんでした。

9. 代表者による全体の評価と見直し R5年度エコアクション21環境活動

令和6年4月30日
株式会社 渡部製作所
代表取締役 渡部 竜一

1	環境経営方針の作成	平成18年3月30日に改訂した『環境経営方針』を継続する。
2	環境負荷と環境への取組	無理のない節電・節水。 あらためて、出来ることの見直し。
3	環境関連法規等の取りまとめ	継続的見直し。 外部情報の収集。
4	環境経営目標及び 環境経営計画の策定	計画した目標に対し、達成出来る様計画・活動する。
5	実施体制の構築	現状維持。
6	教育・訓練の実施	社内教育の拡充、緊急対応訓練の実施。
7	環境コミュニケーション	環境経営レポートの発行と、顧客からの調査要求は確実に対応。
8	実施及び運用	計画を確実に実施する。
9	環境上の緊急事態への 準備及び対応	運送業者にも油漏れの確認依頼。 社用車の油漏れの確認。
10	取組状況の確認及び問題の是正	冬場の暖房使用において高効率の追求。
11	環境関連文書及び 記録の作成・整理	掲示板での見える化を継続。
12	全体の評価と見直し	継続してより良い活動を心がけてください。環境に配慮することで、経営に直結するという事を念頭において、日々の生産活動にも活かし、環境にも優しい会社を目指していきましょう。

代表者の見直しの結果

1	環境経営方針	変更なし
2	環境経営目標及び環境経営計画	変更あり
3	実施体制	変更なし
4	環境経営システム	変更なし